

令和7年度 第9回益富地域会議 会議録

日 時：令和8年1月21日（水曜日）19時00分～20時15分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞梅木 貴仁、加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、

黒田 隆、櫻井 裕子、鶴田 政勝、寺崎 謙二、

橋本 卓美、森本 泰崇、山内 日出美

欠席者：今野 貞直、柴田 栄作、鈴木 勲、田中 強、間瀬 亮次、

古川 和彦

＜高 橋 支 所＞前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

＜内容＞

1 豊田市民の誓い唱和

2 会長あいさつ

3 地域課題解決事業（多世代文通に関するグループワーク）

事務局から今後、多世代文通を実施していくにあたり、課題やより良い内容にするためのアイデア等をグループで協議してほしい旨を説明した後、各グループで協議した。各グループの意見等は以下のとおり。

【各グループの主な意見等】

グループ	課題・心配ごと等	アイデア等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者の把握方法 ・何歳以上を対象にするか ・返信できない人はどうするか (歩いてポストまで行けない人等) ・返信したくなるような文面にする。 ・子どもたちの負担にならないか ※子どもたちに書かせるのは良いが この手紙は何のために書いて、 その手紙はどこへ届くのか等を 最初に伝える必要がある。 ・初回にこの文通の趣旨を明確に 伝えないと警戒される。 (詐欺と勘違いされてしまう) ・手紙を出す時期（頻度）の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信者は個人名ではなく団体名で出す。 (例えば、高校のボランティア部の 名前で出せば、生徒が卒業しても団体 名で継続すれば後進の生徒にも受け継 がれていく。) ・手紙が地区内で流通できるようにする (書き手が五ヶ丘の人であれば、その 手紙は五ヶ丘地区の人へ送る等) →顔の見える関係ができるとオフ会も 開ける可能性が出てくるため。 ・写真が入ったものや絵手紙等、受け取 って嬉しい内容にする。 ・くるみん、ますみんを活用する。 ・交流館で当該文通の講座を実施して 手紙を出すグループをつくる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも高齢者は文通を望んでいるのか ・手紙に書く内容をよく検討する。 ・送って反応が無い場合の対応検討 ・一人暮らしの高齢者の把握方法 ・手紙の字が読めるか (書き手の問題) ・詐欺と思われないか (文通の趣旨をきちんと伝える。) ・そっとしておいてほしい人の対応 ・個人情報の管理方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・送り先の人知っている人の名前です。 ・手紙の内容を事前にチェックする (誹謗中傷等の表現がないかどうか) ・地域のイベント情報等も入れて送る。 ・写真など入れて読みたくなるようにする。 ・読みやすい大きな字で書く。 ・1 人の高齢者に対して園児・小中学生複数人のグループで書いて送る。 ・敬老の日等の行事に合わせて送る ・封筒は市役所の茶封筒でなく、可愛くて開けたくなるような物を使う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理方法 ・どんな内容を書くか ・誰に届けるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は市から全員に送って、返信が無い人に対して訪問をかける。 ・書き手が主催するイベントのお誘いを入れる。

4 事務連絡

①令和7年度 第10回益富地域会議

- ・日時：令和8年2月18日（水曜日）19時～
- ・場所：益富交流館 多目的ホール

②「五ヶ丘まちづくりニュースレター第9号」及び「第2回五ヶ丘まちづくりミーティング」（令和8年2月7日（土）14時～）開催の案内

以上